

植民地期におけるベンガル人のナショナリズムとアジア主義 ： タゴール、パル、そして二人のボース

日時:2013年7月27日(土)10:05-15:00

場所:大阪市北区梅田1-2-2-600大阪駅前第2ビル6階

大阪市立大学文化交流センター 小セミナー室

プログラム(各報告時間には、質疑時間30分を含む)

10:05-10:15 趣旨説明

10:15-11:20 野村親義(大阪市立大学准教授)「S.C.BoseとTISCOのストライキ
：戦間期に注目して」

11:20-11:30 休憩

11:30-12:50 水谷智(同志社大学准教授)「R.Tagore,R.B. Boseと日本の朝鮮支配」

12:50-13:30 休憩

13:30-14:50 中里成章(東京大学名誉教授)「パル判事とアジア主義——
カルカッタの“Greater India Society”との関係を中心に——」

16:00-18:00 懇親会

コメンテーター 小川原宏幸
(同志社大学助教)

【一般参加歓迎】

共催: 科学研究費基盤研究C「20世紀前半インド証券取引所の機能不全と私的公的治
の失敗: 未刊行史料が語ること」代表: 野村親義
同志社植民地主義研究会

問い合わせ: chikayoshi_nomura@hotmail.com

